

平成 30 年度 飯綱町地域農業再生協議会 水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当町は、長野県北部に位置し、飯縄山、斑尾山の山麓に広がる起伏の少ない標高 500m～700m の丘陵地帯で、果樹と水稻を基幹産業とした農業地域である。農用地利用については、基盤整備に重点をおいて農業施策を推進してきた結果、水田の区画整理事業は全体の 90% が完了している。飯綱産米は、特A米（いいづなコシヒカリ）の産地として、りんごは「いいづなりんご」の産地として、市場や消費者の評価は高い。しかし、長引く価格低迷と消費減退等により、若者の農業離れと農業就業者の高齢化・担い手不足が進み、農用地の荒廃化が徐々に進行している。

2 作物ごとの取組方針等

町内の 827.2511ha の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

生産数量目安値に沿った作付面積を確保して、多面的機能を十分に生かしながら、安全・安心を重視した良質米の生産を目指す。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

今後の米の需給動向を踏まえつつ、水田を有効に活用する取組として導入を検討していく。

イ 米粉用米

今後の米の需給動向を踏まえつつ、水田を有効に活用する取組として導入を検討していく。

ウ 新市場開拓用米

今後の米の需給動向を踏まえつつ、水田を有効に活用する取組として導入を検討していく。

エ WCS 用稲

今後の米の需給動向を踏まえつつ、水田を有効に活用する取組として導入を検討していく。

オ 加工用米

醸造用かけ米としての需要者ニーズに対応する加工用米の生産・販売計画を策定して農家所得の確保を目指すこととし、産地交付金を活用し、交付対象下限面積を年度ごと段階的に引き上げるよう設定することにより、加工用米の作付拡大を図る（平成 29 年：21.2964ha→平成 30 年：21.5ha）。

カ 備蓄米

今後の米の需給動向を踏まえつつ、水田を有効に活用する取組として導入を検討していく。

(3) 麦、大豆、飼料作物

遊休荒廃地の防止や地産地消の推進のため、大豆の栽培に対しては町独自の奨励金も交付しているため、引き続き作付拡大を図る。麦、飼料作物については、今後の米の需給動向を踏まえつつ、水田を有効に活用する取組として導入を検討していく。

(4) そば、なたね

遊休荒廃地の防止や地産地消の推進のため、そばの栽培に対しては町独自の奨励金も交付しているため、引き続き作付拡大を図る。具体的に、遊休荒廃地の防止や地産地消の推進のために、そばの栽培に対して産地交付金を活用し、戦略作物であるそばの地域ブランド維持の取組として、水田での取組面積を増加させる（平成 29 年：30.8243ha→平成 30 年：31ha）。

なたねについては、今後の米の需給動向を踏まえつつ、水田を有効に活用する取組として導入を検討していく。

(5) 高収益作物（野菜等）

アスパラガス及び加工用トマトの栽培に対し、地域振興作物として産地資金を交付し、水田転作による有効活用を目指す。アスパラガスに関しては、湿地でも栽培でき水田活用に適していること、また、加工用トマトに関しては、企業との契約栽培により販路が確保されていることにより、生産量の拡大による農家所得の確保に繋げるため、水田活用による取組面積を増加させる。

（アスパラガス 平成 29 年：2.9406ha→平成 30 年：3.1ha）

（加工用トマト 平成 29 年：1.3974ha→平成 30 年：1.4ha）

(6) 畑地化の推進

水田における果樹や野菜等を本作化する取組に対し、特例的に支援することにより畑地化の推進を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	463.3198	439.3548	435.0000
飼料用米			
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS 用稲			
加工用米	21.2964	21.5000	22.5000
備蓄米			
麦	0.2950	1.0000	2.0000
大豆	16.9042	18.0000	20.0000
飼料作物	0.6437	1.0000	1.0000
そば	30.8243	31.0000	32.0000
なたね			
その他地域振興作物	4.3380	4.5000	5.0000
アスパラガス	2.9406	3.1000	3.4000
加工用トマト	1.3974	1.4000	1.6000

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				現状値 (ha)	目標値 (ha)
1	アスパラガス 加工用トマト	高収益作物への助成	取組面積	(29 年度) 2.9406 (29 年度) 1.3974	(32 年度) 3.4000 (32 年度) 1.6000
2	そば 加工用米	戦略作物の生産性向上の取組	取組面積	(29 年度) 30.8243 (29 年度) 21.2964	(32 年度) 32.0000 (32 年度) 22.5000
3	そば	そばの取組（地域の取組に応じた配分の対象分）	取組面積	(29 年度) 30.8243	(32 年度) 32.0000
4	加工用米	加工用米に係る複数年契約の取組（地域の取組に応じた配分の対象分）	取組面積	(29 年度) 5.5104	(30 年度) 5.5104

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。